

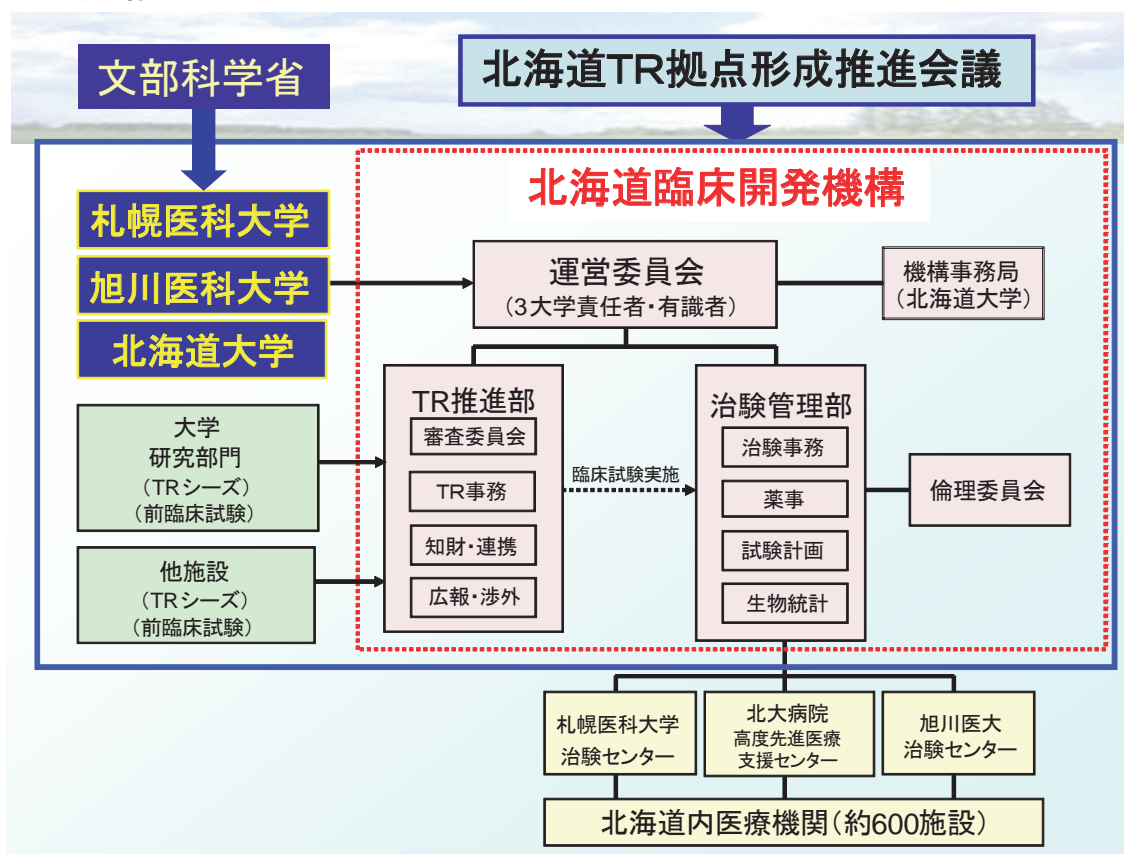
## (2) 橋渡し研究支援推進プログラム〔文部科学省〕

### 「オール北海道先端医学・医療拠点形成」

#### 〔概要〕

- ・本プログラムでは、札幌医科大学を責任機関とし、橋渡し研究の支援を目的として、札幌医科大学、北海道大学、旭川医科大学（以下、3大学）により「北海道臨床開発機構」を設立（事務局は北海道大学敷地内）。
- ・本機構では、3大学を中心として開発されたシーズの中から有望なシーズを発掘し、安全性評価や試験物製造を援助し、適切な臨床計画立案を指導し、治験に結びつける。また、全国にシーズを公募し、有望なシーズは3大学との共同研究として採用し、実用化を目指す。

#### ■ 組織機構図



## [事業期間]

平成 19 年度～23 年度（5 年間）

## [目 標]

- ・ 5 年間で 2 件の薬事法に基づく治験が実施できることを目標とする。

## [平成 19 年度委託費]

- ・ 288,500 千円

## [活動予定]

- ・ 広報活動や講演会の開催等を通じ、橋渡し研究に関する普及・啓発活動を積極的に行う。
- ・ 北海道庁や（財）北海道科学技術総合振興センター等の研究開発支援機関、北海道経済連合会等との連携を図ることにより、本受託業務について北海道全体によるより円滑な推進を 3 大学共同で目指す。

## [札幌医科大学の研究シーズ]

- ① 脳梗塞後の骨髄間葉系幹細胞の静脈内投与による再生医療治療効果向上のための技術開発
- ② エピジェネティクスを標的とした癌の診断及び治療法に関する臨床研究
- ③ 新規高性能抗体を用いた癌早期低侵襲診断法の橋渡し研究
- ④ ヒト癌ワクチン実用化の臨床研究
- ⑤ 血漿プロテオミクスによる GVHD 診断標的の同定と臨床応用

## [将来構想]

- ・ 知的財産のライセンス料や治験管理手数料などにより、自己資金の確保を図り、機構運営の独立を図っていく。
- ・ 国際的な T R 研究支援活動、治験受入拠点を目指す。